

RAL

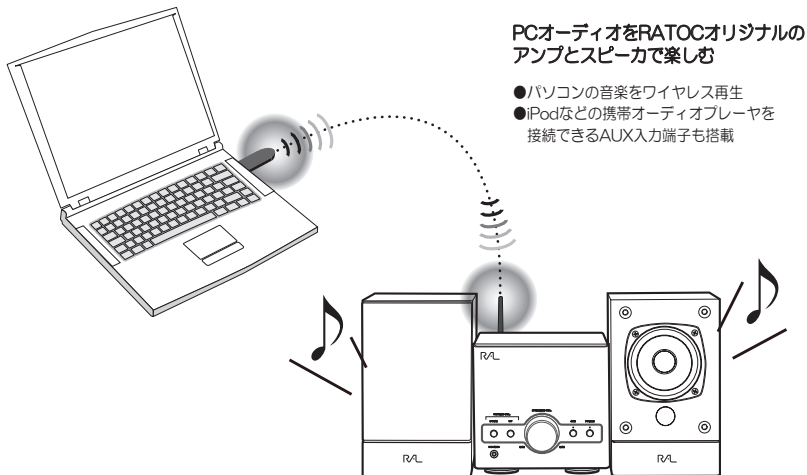
Wireless Audio System

セ ッ テ ィ ア

RAL-Cettia1B

ユーザーズマニュアル

2008年5月 第1.0版



本製品を正しく安全にお使いいただくため
ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

ラトックシステム株式会社

RS RATOC Systems, Inc.

〈ご注意〉

1. 本書の著作権はラトックシステム株式会社にあります。
2. 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡お願い申し上げます。
3. 本書の運用により生じた結果の影響については、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
4. 本書の一部または全部を無断で使用・複製することはできません。
5. 本書の内容は、将来予告なく変更する場合があります。

- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有しておりますが、弊社はその使用許諾契約により本商標の使用が認められています。
- Windowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple, Mac, MacOSは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他本書に記載されている商品名/社名などは、各社の商標または登録商標です。なお本書では、™、®マークは明記しておりません。

目次

●	安全にご使用いただくために	2
1	はじめに	5
	-1. 動作環境	5
	-2. 対応オーディオ機器	5
	-3. 内容物の確認	5
	-4. 各部の名称	6
	-5. 使用上の注意	7
2	接続について	8
	-1. スピーカと受信機(プリメインアンプ)の接続	9
	-2. パソコンとの接続(パソコンの音楽を聞く場合)	10
	-3. オーディオプレーヤとの接続 (iPodなどの音楽を聞く場合)	12
	-4. その他の機器との接続	14
3	音量の調節	15
4	Windows Me/98SEドライバのインストール	16
5	パソコンの音楽が聞こえないときは	18
	-1. 確認の流れ	18
	-2. Windows Vistaの設定確認	19
	-3. Windows XPの設定確認	21
	-4. Windows 2000の設定確認	22
	-5. Windows Meの設定確認	23
	-6. Windows 98SEの設定確認	24
	-7. Mac OS Xの設定確認	25
	-8. Mac OS 9.2.2の設定確認	25
	-9. ペアリングについて	26
6	パソコンでの使い方のヒント	27
	-1. 高音質のCDリップングについて	27
	-2. OSのエラー音をワイヤレス伝送したくないときは	29
	-3. 音が途切れやすいときは	30
7	お問い合わせ・ユーザ登録	32
	-1. 本製品に関するお問い合わせ	32
	-2. ユーザ登録	32
	-3. 修理について	33
8	オプション品のご案内	34
9	一般仕様	35
●	RAL-Cettia1B 質問用紙	

安全にご使用いただくために

本製品は安全に充分配慮して設計をおこなっていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、警告/注意事項を必ず守ってください。

表示について

誤った取り扱いで生じる危害や損害の程度を「警告」「注意」に区分し説明しています。



警告 「人が死亡または重傷を負う可能性がある」内容を示しています。



注意 「人が負傷または物的損害が発生する可能性がある」内容を示しています。

絵表示について



感電注意



高温注意

△ 記号は、行為を「注意する」内容を示しています。



分解禁止



ぬれ手禁止

⊘ 記号は、行為を「禁止する」内容を示しています。



必ずする



電源プラグをコンセントから抜く

● 記号は、行為を「必ずする」内容を示しています。

警告

異常が起きた場合は電源プラグを抜く、故障したまま使用しない。



電源プラグをコンセントから抜く

・煙が出る、異臭や音が出る。
・内部に水や金属が入ってしまった。
そのまま使用すると、火災・感電の原因。
接続ケーブル類を全て外し、速やかに弊社サポートセンターへ連絡を。

分解、改造をしない。



分解禁止

火災・感電・破裂・ケガの原因。
点検/修理は、弊社サポートセンターもしくは販売店へ。

電源のコード・プラグを傷つけない、掃除する。

◆電源のコードを傷つけない。



禁止

・電源のコードを束ねたまま使用したり、釘などで固定しない。
・電源のコードは、ものを上に置いたり、敷物や家具の下に設置したり、布で覆わない。
・必ず差込プラグをもって引き抜く。
・電源のコードを熱器具に近づけない。
火災・感電・断線・故障の原因。

◆電源プラグを定期的に掃除する。



必ずする

電源プラグに埃などが付着していると、湿気などで絶縁が悪くなる。
火災や感電の原因。

火の中に投入しない、過熱しない。



禁止

・廃棄の際は自治体の条例に従う。
火災・発火・破裂の原因。

長時間、音が歪んだ状態で使用しない。



禁止

アンプ、スピーカなどが発熱し、火災の原因。

雷が鳴り始めたら電源プラグに触れない。



接触禁止

感電の原因。

通風孔をふさがない、異物を入れない。

◆通風孔をふさがない。



禁止

・おおむけや逆さまにしない。
・布を掛けない。
・じゅうたん、布団の上に置かない。
・風通しの悪い狭い場所に置かない。
内部に熱がこもり火災の原因。

◆金属や、燃えやすいものなど異物を入れない。



禁止

・通風孔、開口部からヘアピンなどの異物を入れない。(特に幼児のいる家庭で注意)
火災・感電の原因。



警告

以下のような場所で保管、使用しない。

◆水蒸気や水のかかる場所に置かない、本製品の上に液体の入った容器を置かない。



風呂、シャワー室での使用禁止

- ・風呂、シャワー室など湿度の高い場所に置かない。
 - ・水をかけたり、ぬらしたりしない。
 - ・調理台や加湿器のそばには置かない。
 - ・雨天、降雪、海岸、水辺で使用しない。
 - ・本製品の上に花びんやコップ、ろうそくなどを置かない。
- 火災・感電・故障の原因。



水ぬれ禁止

◆直射日光や高温になる場所に置かない。



禁止

- ・高温、温度差の激しい場所に置かない。
 - ・直射日光を避け、60℃以上になるような場所に置かない。
 - ・発熱体の近くに置かない。
- 火災・発火・破裂・故障の原因。

◆不安定な場所に置かない。



禁止

- ・強度の足りないぐらついた台や傾いたところ、振動する場所に置かない。
 - ・高所に設置する場合、固定しないまま使用しない。
- 落下、転倒し、ケガや事故の原因。

◆チリ、ホコリ、静電気、磁気、腐食性ガスのある場所に置かない。



禁止

- ・塵や埃の多い場所に置かない。
 - ・静電気や磁気の影響が強い場所に置かない。
 - ・腐食性ガス雰囲気中(CL 2、H2S、NH3、SO2、NOx 他)の場所に置かない。
- 火災・発火・感電・故障の原因。

◆キャッシュカードなどの磁気製品を近づけない。



禁止

- ・時計や磁気カード、テレビ、モニター、ラジオ、テープ、フロッピーディスクなどの磁気を使用した製品を近づけない。
- 使用できなくなる恐れ。

テレビやモニターとの近接使用をしない。

本製品のスピーカーは強力な磁石を使用しています。そのため、スピーカーをブラウン管(CRT)方式のテレビやモニターに近接して設置すると、磁力線の影響で画像の一部が歪む、色ムラが発生するという障害が発生する場合があります。絶対に本製品にテレビやモニターを近づけないでください。



注意

設置、接続に関する注意事項。

◆人が通る場所に配線しない。



注意

つますいて転倒、接続機器の落下など、けがや事故の原因

◆落としたり、衝撃を与えない。



禁止

- ・強い衝撃を与えない。
 - ・無理に曲げない。
 - ・落とさない。
 - ・傷つけない。
 - ・上に重いものを乗せない。
- 火災や故障の原因。

◆関連機器の接続はその機器の取扱説明書に従う。



必ずする

誤った接続、指定以外のコードの使用などをすると、予期せぬトラブルが発生する恐れ。

◆同梱のポリ袋は幼児の手の届かないところに置く、また、火のそばに置かない。



注意

誤って幼児が飲み込む、窒息する恐れ。ポリ袋が引火し火災の原因。

◆接続する端子を間違えない。



禁止

接続する端子を間違えると、端子から発煙したり火災・故障の原因。

電源プラグに関する注意事項。

◆電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。



差し込みが不完全のままで使用すると発熱
やホコリの付着で、火災・感電の原因。

必ずする

◆長時間使用しないとき、お手入れするときは電源プラグ抜く。



電源プラグを
コンセントから抜く

・旅行などで長時間使用しないとき。
絶縁劣化やろう電などにより火災の原因。

・お手入れをするとき。
感電の原因。

◆ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。



ぬれ手禁止

感電の原因。

◆異なる電源電圧で使用しない。



禁止

本製品は日本国内(交流100V)専用。
指定外の電源電圧で使用すると、火災や
感電・故障の原因。

使用に関する注意事項。

◆音量に注意する。



必ずする

・はじめからボリュームを上げすぎない。
突然大きな音が出て聴力に悪影響を及ぼす原因。
・大音量で長時間聞かない。
聴力に悪影響を及ぼす原因。

◆通風孔の温度上昇に注意する。



高温注意

本製品の通風孔付近は放熱のため高温
になる恐れ。

移動時の注意事項。

◆移動時は電源プラグや接続ケーブルを外す。



電源プラグを
コンセントから抜く

ケーブルが傷つき火災や感電の原因。

◆本製品の上にももの乗せたまま移動しない。



注意

・本製品の上にも他の機器やものを乗せた
まま移動しない。

・ネットグリルやスピーカユニット部を
持って移動しない。
落下や転倒で、ケガの原因。

汚れたときは、電源プラグを抜いてから、 乾いた布で拭く。



必ずする

・汚れや埃は、柔らかい布で乾拭きをする。
・ひどい汚れは、中性洗剤を薄めた水に、柔
らかい布を浸し、堅く絞ってから汚れを
拭き取り、別の乾いた柔らかい布で、乾拭
きをする。
・シンナー、ベンジン、アルコールなどは絶
対に使わない。
変色や故障の原因。

本製品は一般オフィスや家庭のOA機器ないし ホビー用途の製品として設計されています。

■一般製品より高い信頼性が要求または、
医療機器のような極めて高い安全が要求
される用途に使用しないでください。

■医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送
機器など人命に関わる設備や機器、及び高
度な信頼性を必要とする設備や機器での
使用をしないでください。

本製品の故障により人身事故/火災事故/その他の
障害が発生した場合、いかなる責任も負いかねます。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては
気になるものです。隣近所への配慮
を忘れないようにしましょう。ステ
レオの音量は、あなたの心がけ次第
で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には、小さな音でも
通り易いものです。窓を閉めたり、
ヘッドホンを使用するなど、お互
いに気を配りましょう。

1

はじめに

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は本製品の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず本書をよくお読みください。また、お読みになった後も本書は大切に保管してください。

1-1. パソコンの動作環境

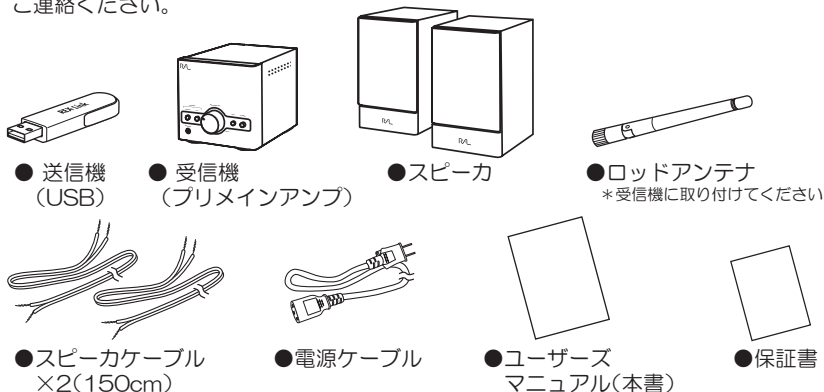
- ◆ 対応OS : Windows Vista/XP/Me/2000/98SE
※Windows Vista/XPは64ビット版にも対応
Mac OS X 10.1以降、Mac OS 9.2.2
- ◆ 対応パソコン : USBポートを標準装備、もしくは弊社製USBインターフェイスカードを搭載したWindowsPCまたはMac

1-2. 対応オーディオ機器

- ◆ 音声入力 : ・送信機 (USB) からのワイヤレス伝送
・ラインアウト端子 (アナログ) を装備したオーディオプレーヤー
※本製品はUSBバスパワーコネクタ搭載によりiPodなどの充電に対応
- ◆ 音声出力 : ・ヘッドホン (3.5mmステレオミニ)
・スピーカ
・AUX入力端子 (ラインイン) を持つ音響機器

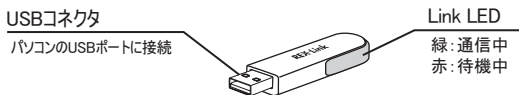
1-3. 内容物の確認

パッケージの中に下記の物がすべて揃っているかご確認ください。
万一不足がありましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。

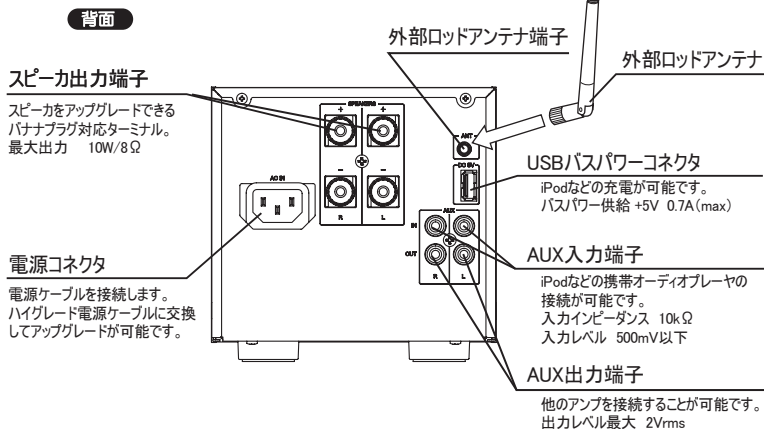
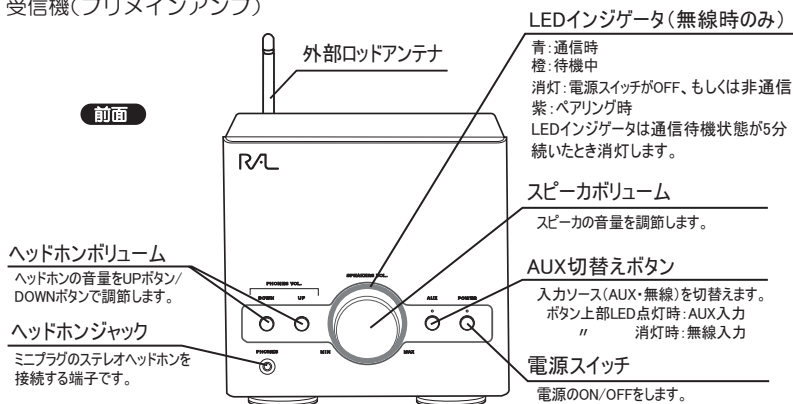


1 -4. 各部の名称

● 送信機(USB)

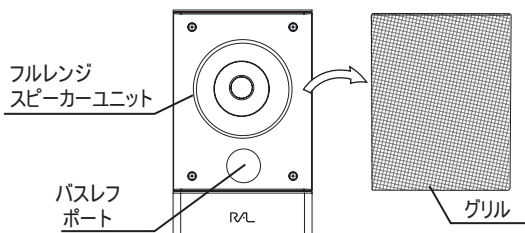


● 受信機(プリメインアンプ)

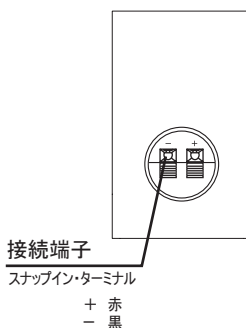


● スピーカ

前面



背面

**1** -5. 使用上の注意

- REX-Link1シリーズ、REX-WHP1シリーズとの互換性はありません。
- 送信機からパソコンへの音楽や音声の入力はできません。
- AUX出力端子にはヘッドホンなど入力インピーダンス(負荷抵抗)が10kΩ以下の機器は接続しないでください。故障の原因となる恐れがあります。
- 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 製品改良のため、将来予告なく外觀または仕様の一部を変更する場合があります。
- 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守及びサポートはおこなっておりません。
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。
- 本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に内容を明記しています。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。

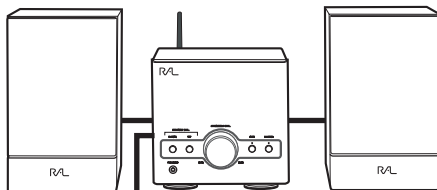
2 接続について

接続の手順は次の通りです。

2-1. スピーカと受信機（プリメインアンプ）の接続

⇒9ページ

必ず接続してください。



2-2. パソコンとの接続 （パソコンの音楽を聞く場合）

⇒10ページ



無線接続。
iTunesなどに
ダウンロード
した音楽を
再生して聞く。

受信機（プリメインアンプ）前面の
AUX切替ボタンで、入カソース
（無線・AUX）を選択します。

2-3. オーディオプレーヤとの接続 （iPodなどの音楽を聞く場合）

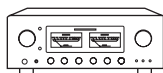
⇒12ページ



AUX入力端子と接続。
iPodの音楽を
充電しながら聞く。

2-4. その他の機器との接続

⇒14ページ



AUX出力端子に他のアンプを接続。
ヘッドホンジャックにヘッドホン
を接続。

2-1. スピーカと受信機(プリメインアンプ)の接続

1. スピーカ背面のスナップイン・ターミナルと、受信機(プリメインアンプ)背面のスピーカ出力端子をスピーカケーブルで接続します。

※右側スピーカ・左側スピーカの区別はありません。

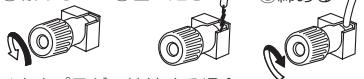
※スピーカケーブルはスピーカの+側端子と受信機(プリメインアンプ)の+側端子を、スピーカの一側端子と受信機(プリメインアンプ)の一側端子を接続してください。

※プラス(+)とマイナス(-)を間違えて接続すると音声那不自然になりますので注意してください。

※受信機(プリメインアンプ)側のスピーカ出力端子は、バナナプラグにも対応しています。お客様がお持ちのスピーカを接続することも可能です。

●添付スピーカケーブルで接続する場合

- ①緩める ②差し込む ③締める



●バナナプラグで接続する場合

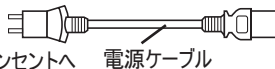
- ①最後まできっちり締める ②プラグを差し込む



2. 受信機(プリメインアンプ)背面に、外部ロッドアンテナを接続します。

※無線で使用する場合は必ず接続。

3. 受信機(プリメインアンプ)背面に、電源ケーブルを接続します。

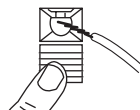


コンセントへ 電源ケーブル

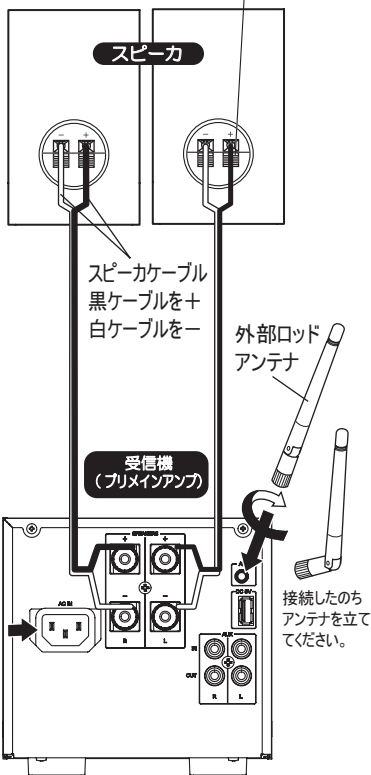
※電源タップは、3P ACインレットですので、ハイグレード電源ケーブルに交換してアップグレードが可能です。



※スピーカケーブルは必要なだけ白と黒に裂く。



※レバーを押しなら差し込む。

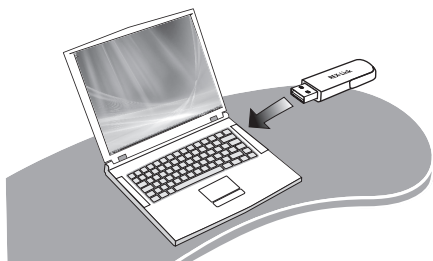


⚠注意

- ・接続が完了するまで、電源を入れないでください。
- ・スピーカケーブルの芯線を他の端子に接触させないでください。
- ・受信機(プリメインアンプ)の側面に、放熱の妨げになるようなものを置かないでください。内部に熱がこもり、故障や火災の原因となります。また、ベットやソファなど不安定な場所に受信機(プリメインアンプ)を設置しないでください。

2 -2.パソコンとの接続（パソコンの音楽を聞く場合）

1. パソコンに送信機(USB)を接続します。



- ※パソコンの電源はONのまま、送信機(USB)を接続します。
- ※受信機(プリメインアンプ)へ電波が届くよう、見通しのよい位置に送信機(USB)を接続してください。



送信機(USB)の位置調整に！

別売アクセサリを使用して、送信機(USB)を電波の届きやすい位置や向きに調整することもできます。

- USBデスクトップ延長ケーブル(別売)(150cm)
RCL-USB-EXT



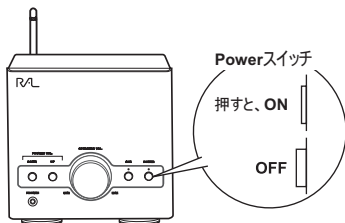
- USBマルチアングルコネクタ(別売)RSD-LKUA1



2. お使いのパソコンがWindows Me/98SEの場合、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動しますので、**4**「Windows Me/98SEドライバのインストール」(16ページ)の手順でドライバのインストールをおこなってください。

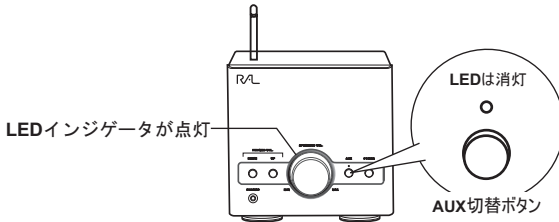
- ※Windows Vista/XP/2000は、自動的にドライバがインストールされます。
- ※Macは、自動的にドライバがインストールされます。

3. 受信機(プリメインアンプ)の電源をONにします。

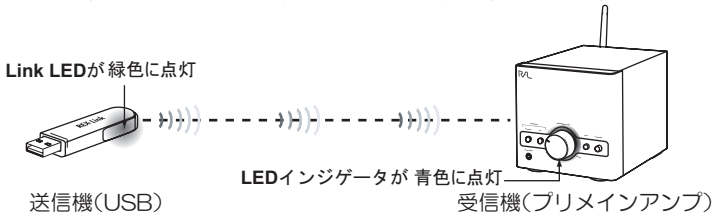


パソコンとの接続（パソコンの音楽を聞く場合）

4. スピーカボリューム周りのLEDインジゲータが点灯していることを確認してください。AUX切替ボタン上部のLEDが点灯している場合、AUX切替ボタンを押して消灯させてください。



5. 送信機（USB）が緑色、受信機（プリメインアンプ）が青色にLED点灯で通信可能です。パソコンにて音楽を再生し、お楽しみください。



- ? 送信機（USB）が緑色、受信機（プリメインアンプ）が青色にLED点灯しない。
手順通り接続しても音楽が聞こえない。

5 「パソコンの音楽が聞こえないときは」参照 ⇒18ページ

! パソコンでの使い
方のヒント

6 「パソコンでの使い方ヒント」参照

- ・高音質のCDリップングについて ⇒27ページ
- ・OSのエラー音をワイヤレス伝送したくないときは
⇒29ページ
- ・音が途切れやすいときは ⇒30ページ

👉 送信機(USB)の取り外しについて

送信機(USB)は、いつでも取り外すことができます。

また、いつでも取り付けできますが、パソコンの認識設定が変更されず音が聞こえない時があります。その場合、オーディオの再生デバイスが本製品になっているか確認してください。

5 「パソコンの音楽が聞こえないときは」(18ページ)の各OS別認識設定を参照。

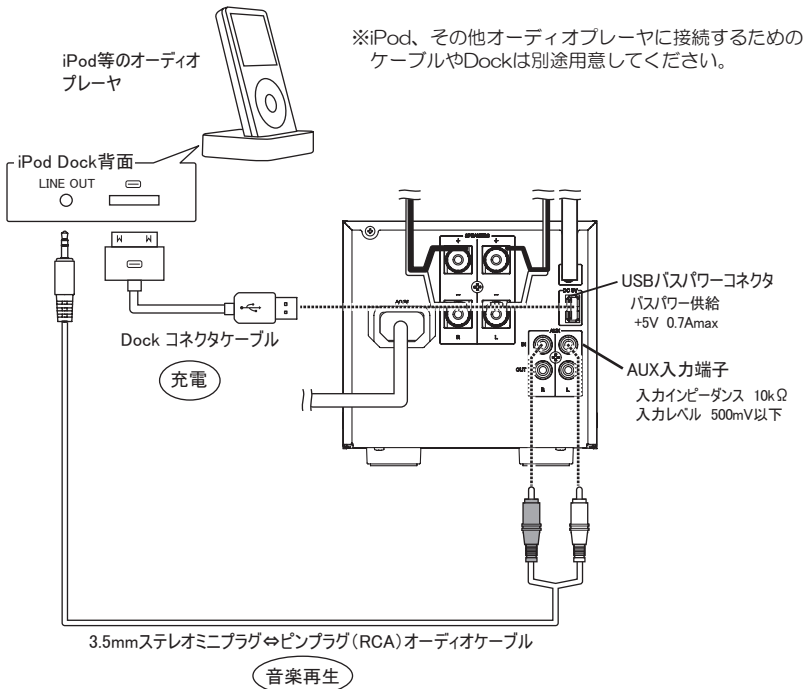
2

-3.オーディオプレーヤとの接続 (iPodなどの音楽を聞く場合)

※ここではiPodを例に説明しています。

受信機(プリメインアンプ)のAUX入力端子およびUSBバスパワーコネクタを利用すれば、iPodを充電しながらiPodの音楽を聞くことが可能です。

1. 下図のように、受信機(プリメインアンプ)にオーディオプレーヤを接続します。



携帯オーディオプレーヤにLINE OUTが無い場合

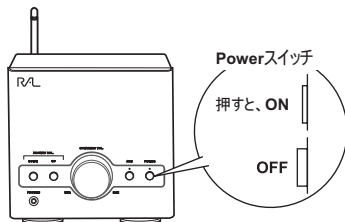


ヘッドホンジャック

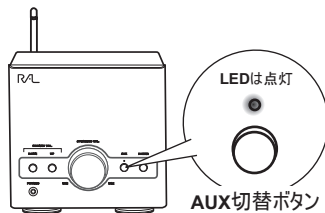
携帯電話や携帯オーディオ機器のヘッドホン出力からのオーディオ信号を、本製品のAUX入力に接続することができます。ただし、その場合は十分な音量で再生できない場合があります。

注意 音量を大きくしたままで、AUX切替ボタンを押さないでください。突然大きな音が出て、聴力に影響を与えることがあります。

2. 受信機 (プリメインアンプ) の電源をONにします。



3. AUX入力端子に接続した機器の音楽を聞くときは、受信機 (プリメインアンプ) の入力ソースをAUXに切り替えます。消灯している場合、AUX切替ボタンを押して点灯させてください。



4. オーディオプレーヤにて音楽を再生し、お楽しみください。

2

-4. その他の機器との接続

▲注意

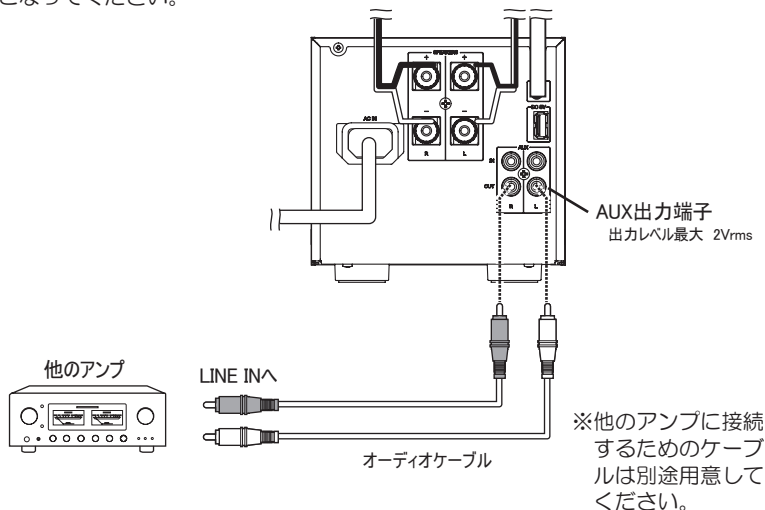
その他の機器の取扱説明書も参照してください。

●他のアンプへ出力する。

※受信機（プリメインアンプ）背面のAUX出力端子に接続します。

※ケーブルを接続するときは本製品の電源を切っておこなってください。

※音量調節は、本製品側のボリュームをMIN（最小）にして、接続したアンプ側でおこなってください。

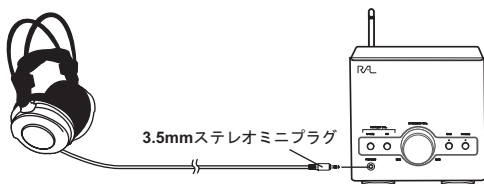


●ヘッドホンを接続する。

※受信機（プリメインアンプ）前面のヘッドホンジャックに接続します。

※接続するときは、ヘッドホンの音量を小さくしてください。

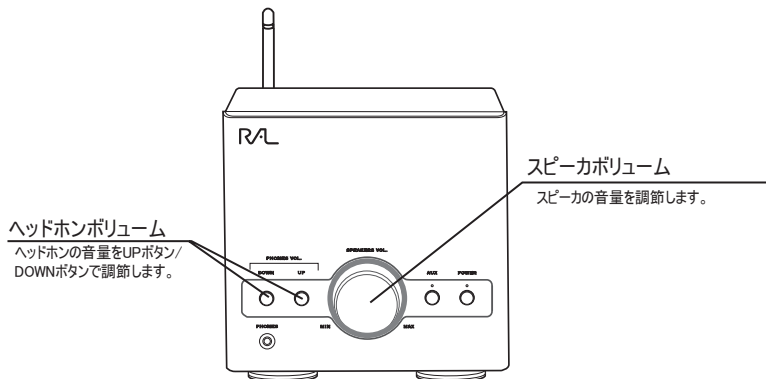
※AUX切替ボタンを押したとき、ポップ音が聞こえることがあります。



※インピーダンスが8~64Ωの範囲のヘッドホンを使用してください。

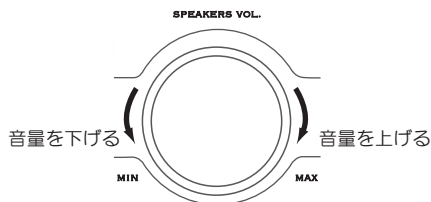
3

音量の調節



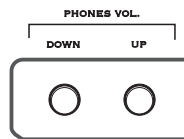
●スピーカボリュームを調節する

つまみを左右にまわして、音量を調節します。
右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。



●ヘッドホンボリュームを調節する

ヘッドホンジャックにヘッドホンを接続している場合は、ヘッドホンボリュームボタンを押して音量を調節します。
DOWNボタンを1回押すと、1段階音量が下がり、UPボタンを1回押すと1段階音量が上がります。



4

Windows Me/98SEドライバのインストール

初めて送信機(USB)をパソコンに接続すると、“新しいハードウェアの追加ウィザード”が起動します。下記の手順でドライバのインストールを完了してください。

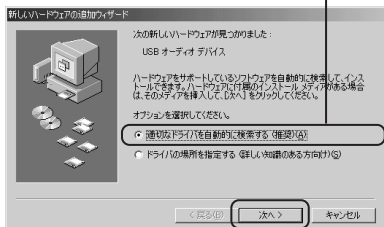


Windows Vista/XP/2000、およびMacは、自動的にドライバがインストールされますので、手動での作業は不要です。

4-1. Windows Meの場合

USBオーディオデバイスのドライバインストール

① “適切なドライバを自動的に検索する”を選択



②【次へ】をクリック



③【完了】をクリック

以上で、インストール完了です。

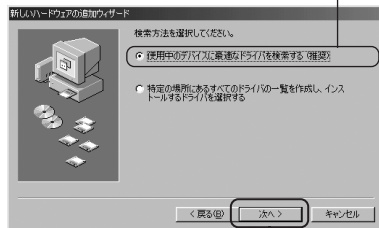
4-2. Windows 98SEの場合

USB 互換デバイスのドライバインストール



①【次へ】をクリック

② “使用中のデバイスに最適…”を選択



③【次へ】をクリック

④ 選択しない



⑤【次へ】をクリック



⑥【次へ】をクリック



⑦【完了】をクリック

USBヒューマン インターフェイス デバイスの
ドライバインストール

⑧【次へ】をクリック

⑨“使用中のデバイスに最適…”を選択



⑩【次へ】をクリック

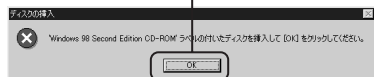
⑪ 選択しない



⑫【次へ】をクリック



⑬【次へ】をクリック

⑭98SEのCD-ROMを挿入し【OK】を
クリック

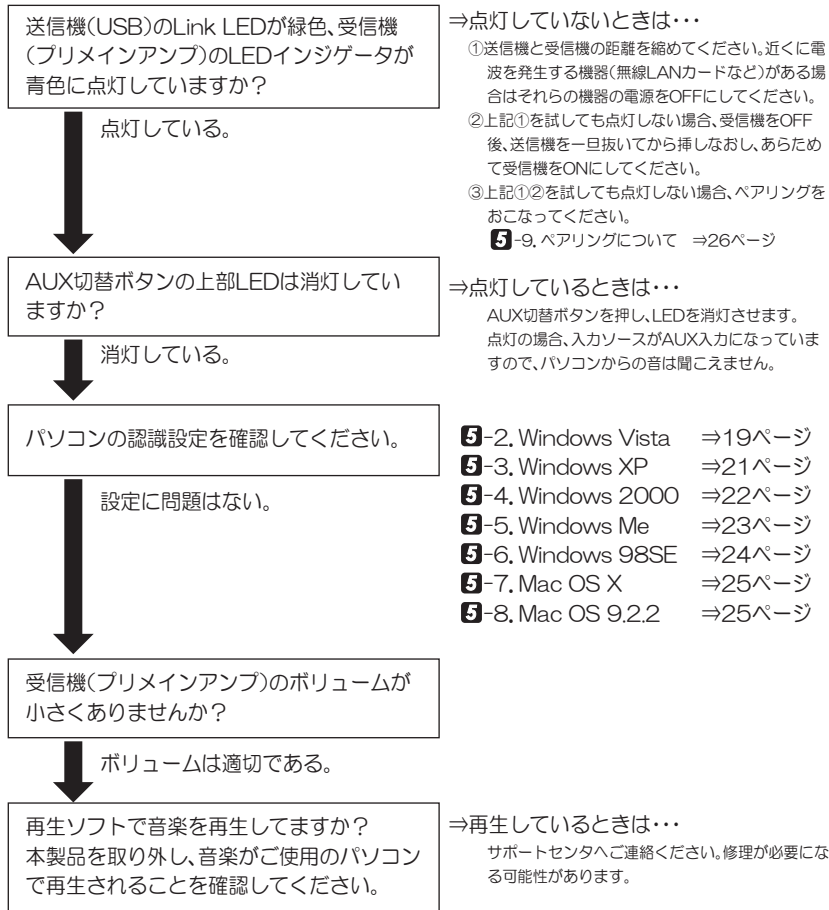
⑮【完了】をクリック

以上で、インストール完了です。

5 パソコンの音楽が聞こえないときは

5-1. 確認の流れ

手順通り接続してもパソコンの音楽が聞こえないときは、次の点を順に確認してください。



5-2. Windows Vistaの設定確認

1. 【スタート】→【コンピュータ】を開いてください。

2. コマンドバーから【システムのプロパティ】をクリックしてください。



3. タスクから【デバイスマネージャ】をクリックしてください。

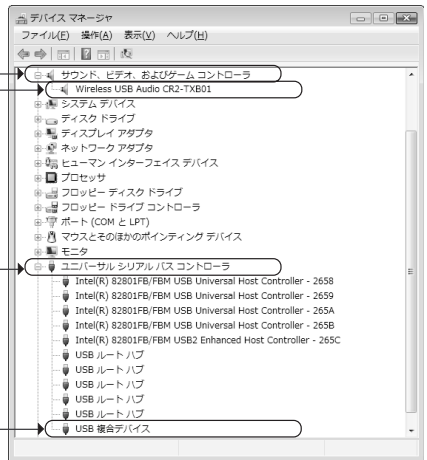


ユーザアカウント制御のメッセージが表示された場合は、【続行】をクリックしてください。



4. 【デバイスマネージャ】の画面から、次の点を確認してください。

- ①【サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ】をダブルクリックします。
- ②その下に【Wireless USB Audio CR2-TXB01】が登録されていることを確認してください。
- ③【ユニバーサルシリアルバスコントローラ】をダブルクリックします。
- ④その下に【USB複合デバイス】が登録されていることを確認してください。



表示されていない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。送信機(USB)を一旦抜いてから挿しなおし、再認識させてください。

5. 【スタート】→【コントロールパネル】
→【ハードウェアとサウンド】→
【オーディオデバイスの管理】をクリック
してください。



6. 【再生】タブにて“Wireless USB Audio CR2-TXB01”が動作中でチェックマークが表示されていることを確認してください。



別の再生デバイスにチェックマークがある場合は、Wireless USB Audio CR2-TXB01を選択して【適用】ボタンをクリックし設定を変更してください。

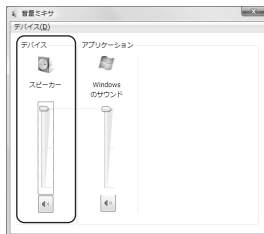
7. 【スタート】→【コントロールパネル】
→【ハードウェアとサウンド】→
【システム音量の調整】をクリック
してください。



“スピーカー”のスライダーが適当な位置にあるか確認してください。



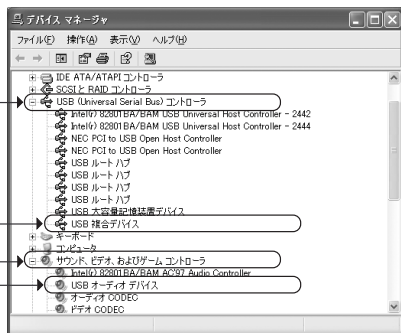
ミュートにチェックが入っている、またはスライダーが下に調節されていると、音が聞こえません。



5-3. Windows XPの設定確認

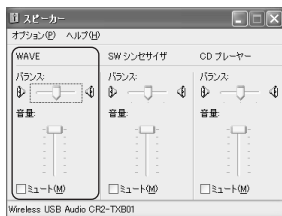
1. 【スタート】→【コントロールパネル】(→【パフォーマンスとメンテナンス】)→【システム】をダブルクリックし「システムの**プロパティ**」を開いてください。
2. 【ハードウェア】タブをクリックし、【デバイスマネージャ】をクリックしてください。
3. 【デバイスマネージャ】の画面から、次の点を確認してください。

- ①【USB(Universal Serial Bus)コントローラ】をダブルクリックします。
- ②その下に【USB複合デバイス】が登録されていることを確認してください。
- ③【サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ】をダブルクリックします。
- ④その下に【USBオーディオデバイス】が登録されていることを確認してください。



表示されていない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。送信機(USB)を一旦抜いてから挿しなおし、再認識させてください。

4. 【スタート】→【コントロールパネル】(→【サウンド、音声、およびオーディオデバイス】)→【サウンドとオーディオデバイス】をダブルクリックし「**サウンドとオーディオデバイスのプロパティ**」を開いてください。
5. 【オーディオ】タブの「音の再生」にて「Wireless USB Audio CR2-TXB01」が表示されていることを確認してください。
【音量】をクリックし、「WAVE」音量のスライダが**適当な位置**にあるか、確認してください。



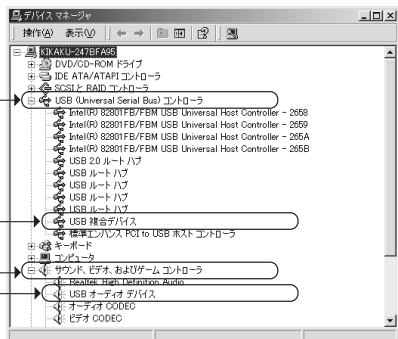
ミュートにチェックが入っている、またはスライダが下に調節されていると、音が聞こえません。

別のデバイスが表示されている場合は、Wireless USB Audio CR2-TXB01を選択して【適用】ボタンをクリックし設定を変更してください。

5-4. Windows 2000の設定確認

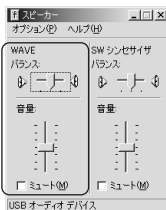
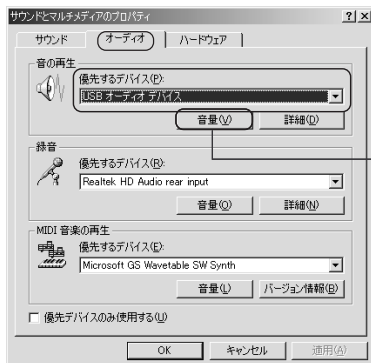
1. 【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】→【システム】をダブルクリックし“システムのプロパティ”を開いてください。
2. 【ハードウェア】タブをクリックし、【デバイスマネージャ】をクリックしてください。
3. 【デバイスマネージャ】の画面から、次の点を確認してください。

- ①【USB (Universal Serial Bus) コントローラ】をダブルクリックします。
- ②その下に【USB複合デバイス】が登録されていることを確認してください。
- ③【サウンド、ビデオ、およびゲームコントロール】をダブルクリックします。
- ④その下に【USBオーディオデバイス】が登録されていることを確認してください。



表示されていない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。送信機(USB)を一旦抜いてから挿しなおし、再認識させてください。

4. 【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】→【サウンドとマルチメディア】をダブルクリックし“サウンドとマルチメディアのプロパティ”を開いてください。
5. 【オーディオ】タブの“音の再生”にて“USBオーディオデバイス”が表示されていることを確認してください。
【音量】をクリックし、“WAVE”音量のスライダーが適当な位置にあるか、確認してください。



ミュートにチェックが入っている、またはスライダーが下に調節されていると、音が聞こえません。

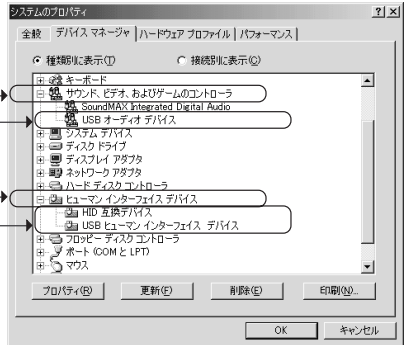


別のデバイスが表示されている場合は、USBオーディオデバイスを選択して【適用】ボタンをクリックし設定を変更してください。

5 -5. Windows Meの設定確認

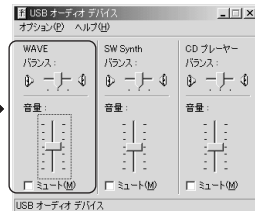
1. 【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】→【システム】をダブルクリックし“システムのプロパティ”を開いてください。
2. 【デバイスマネージャ】タブをクリックしてください。
3. 【デバイスマネージャ】の画面から、次の点を確認してください。

- ①【サウンド、ビデオ、およびゲームのコントロール】をダブルクリックします。
- ②その下に【USBオーディオデバイス】が登録されていることを確認してください。
- ③【ヒューマンインターフェイスデバイス】をダブルクリックします。
- ④その下に【HID 互換デバイス】と【USB ヒューマンインターフェイス デバイス】が登録されていることを確認してください。



表示されていない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。送信機(USB)を一旦抜いてから挿しなおして、“新しいハードウェアの追加ウィザード”を開始させ、ドライバのインストールをおこなってください。❹「Windows Me/98SEドライバのインストール」(16ページ)を参照

4. 【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】→【サウンドとマルチメディア】をダブルクリックし“サウンドとマルチメディアのプロパティ”を開いてください。
5. 【オーディオ】タブの“再生”にて“USBオーディオデバイス”が表示されていることを確認してください。
【音量】をクリックし、“WAVE”音量のスライダが適当な位置にあるか、確認してください。



別のデバイスが表示されている場合は、USBオーディオデバイスを選択して【適用】ボタンをクリックし設定を変更してください。



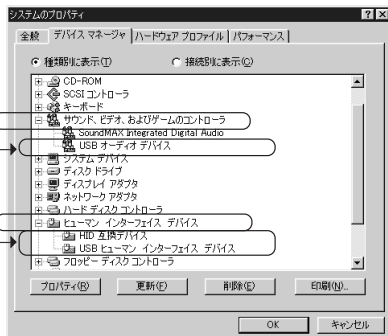
ミュートにチェックが入っている、またはスライダが下に調節されていると、音が聞こえません。

5-6. Windows 98SEの設定確認

1. 【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】→【システム】をダブルクリックし“システムのプロパティ”を開き、【デバイスマネージャ】タブをクリックしてください。

2. 【デバイスマネージャ】の画面から、次の点を確認してください。

- ①【サウンド、ビデオ、およびゲームのコントロール】をダブルクリックします。
- ②その下に【USBオーディオデバイス】が登録されていることを確認してください。
- ③【ヒューマン インターフェイス デバイス】をダブルクリックします。
- ④その下に【HID 互換デバイス】と【USB ヒューマン インターフェイス デバイス】が登録されていることを確認してください。



表示されていない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。送信機(USB)を一旦抜いてから挿しなおして、“新しいハードウェアの追加ウィザード”を開始させ、ドライバのインストールをおこなってください。④「Windows Me/98SEドライバのインストール」(16ページ)を参照

3. 【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】→【マルチメディア】をダブルクリックし“マルチメディアのプロパティ”を開いてください。

4. 【オーディオ】タブの“再生”にて“USBオーディオデバイス”が表示されていることを確認してください。



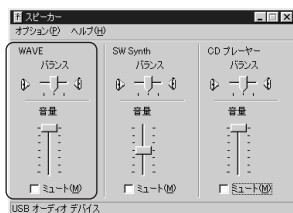
別のデバイスが表示されている場合は、USBオーディオデバイスを選択して【適用】ボタンをクリックし設定を変更してください。



5. 【スタート】→【プログラム】→【アクセサリ】→【エンターテイメント】→【ボリュームコントロール】を開いてください。“WAVE”音量の 슬라이ダが適当な位置にあるか、確認してください。



ミュートにチェックが入っている、またはスライダが下に調節されていると、音が聞こえません。



5-7. Mac OS Xの設定確認

1. アップルメニューから【システム環境設定】→【サウンド】をクリックしてください。
2. 【出力】タブをクリックし、“Wireless USB Audio CR2-TXB01”と表示されていることを確認してください。

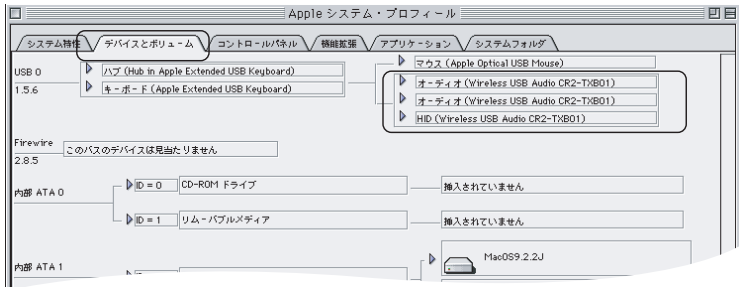


表示されていない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。送信機(USB)を一旦抜いてから挿しなおし、再認識させてください。



5-8. Mac OS 9.2.2の設定確認

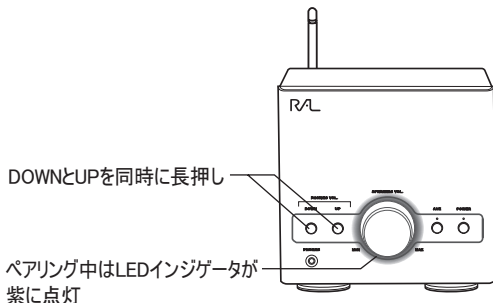
1. アップルメニューから【システム プロフィール】を開いてください。
2. 【デバイスとボリューム】タブをクリックし、USBの欄に“Wireless USB Audio CR2-TXB01”と表示されていることを確認してください。



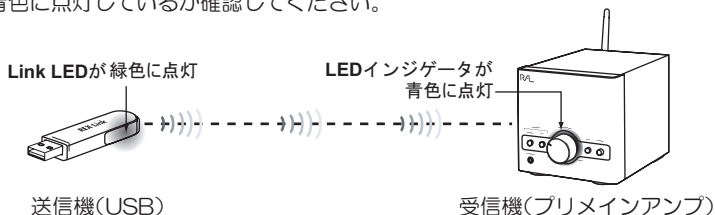
表示されていない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。送信機(USB)を一旦抜いてから挿しなおし、再認識させてください。

5 -9. ペアリングについて

1. 送信機(USB)のLink LEDが緑色、受信機(プリメインアンプ)のLEDインジゲータが青色に点灯しているか確認してください。
点灯していない場合、手順2.へ進みペアリングをおこないます。
2. 受信機(プリメインアンプ)のヘッドホンボリュームのDOWNとUPボタンを同時に長押しすると、LEDインジゲータが紫色になりペアリングが実行されます。
ペアリングが実行されたらボタンから指を離してください。



3. 送信機(USB)のLink LEDが緑色、受信機(プリメインアンプ)のLEDインジゲータが青色に点灯しているか確認してください。



以上で、ペアリングは完了です。



ペアリングとは

無線接続には、あらかじめ、接続しようとする相手の登録が必要です。これをペアリングと呼びます。一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありません。
なお、ペアリングは何度おこなっても問題はありません。

6

パソコンでの使い方のヒント

6-1. 高音質でのCDリッピングについて

iTunesやWindows Media Playerなどで音楽CDを読み込む(リッピング)とき、ファイル形式によって、音質やファイルサイズが大きく異なります。

高音質で音楽を楽しむには、非圧縮または高ビットレートでの読み込みをお勧めします。お使いのソフトウェアにもよりますが、選択できるファイル形式は様々です。概要を記載しますので参考にしてください。

● 読み込み設定画面例

【Windows Media Player: 取り込み設定】



【iTunes: 読み込み設定】



● ファイル形式

ファイル形式	ビットレート	圧縮方式	ファイルサイズ(約)	用途備考	
音楽CD(リニアPCM)	1411.2kbps	—	10MB/分		
WAV(リニアPCM)	1411.2kbps	非圧縮	10MB/分	音楽CDのままリッピング	
AIFF	1411.2kbps	非圧縮	10MB/分	音楽CDのままリッピング	
Appleロスレス	700kbps程度	可逆	5MB/分	音楽CDと同等の音質でファイルサイズ小	
MP3	AAC	128kbps	非可逆	1MB/分	音楽CDに近い音質で圧縮
		192kbps		1.4MB/分	
		160kbps	非可逆	1.2MB/分	
		128kbps		1MB/分	携帯メモリアプレーヤ用
		64kbps		0.45MB/分	会話の生録音

○非可逆方式のMP3とAACは、人の聴覚に影響しない成分を削除しファイルサイズを縮小。音は劣化する。

なお、ビットレートが小さいほど音質は低くなる。ビットレートが同じであれば「ACCエンコード」の方がやや高音質。

○可逆圧縮方式のAppleロスレスは、圧縮してファイルサイズを縮小するが、音の成分は削らず音質はCDと同等。可逆といわれる所以はいつでも音楽CDに形式を戻すことができるということ。

🎧 コーヒーブレイク 「ビットレート」

音楽ファイルは、一般的にビットレート(1秒あたりのビット数)が大きいほど高音質です。ビットレートは、音の波形を1秒間に何回数値化するかのサンプリング周波数(CDの場合は44.1kHz)と、データを何ビットの数値で表すかの量子化ビット数(CDの場合は16bit)、そしてc h数(CDの場合は2ch(ステレオ))で決まります。

本製品は、最高4Mbps(=4000kbps)のワイヤレス伝送が可能です。ワイヤレスでも音楽CDそのままの音を伝送する性能を備えた製品であることが、上表よりご理解いただけると思います。



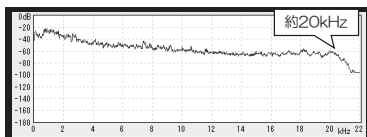
コーヒーブレイク 「周波数と高音質」

下記はパソコンで音楽再生時の周波数測定結果です。周波数が高いほど幅広い音域が再生されている、つまり「高音質」ということとなります。

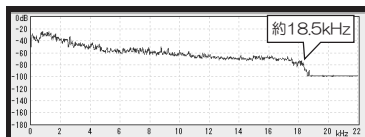
ひとに聞こえる音域(可聴域)は低音で20Hz、高音で15000~20000Hzといわれており、高音質とされるファイル形式(WAVやAppleロスレス形式)では20000Hz (=20kHz)までを幅広くカバーしていることがわかります。

本製品の伝送帯域もまた20Hz~20000Hzであり、非圧縮の音楽がそのままの音質で聞ける性能を備えていることがご理解いただけると思います。

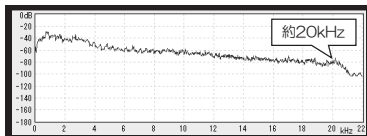
WAV形式
(ビットレート:1411kbps、ファイルサイズ:10MB/分)



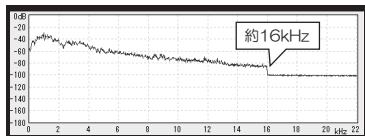
AAC形式
(ビットレート:128kbps、ファイルサイズ:1MB/分)



Appleロスレス形式
(ビットレート:812kbps、ファイルサイズ:5MB/分)

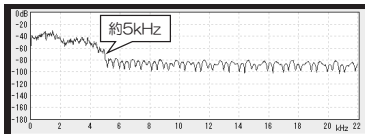


MP3形式
(ビットレート:128kbps、ファイルサイズ:1MB/分)



※グラフの横軸は周波数(Hz)、縦軸が音の強さ(dB)です。

MP3形式
(ビットレート:16kbps、ファイルサイズ:0.12MB/分)



ちなみに、「AACの128kbpsとMP3の128kbpsのように、同じビットレートでも、音質に若干の差がある」、「音の成分を減らさずサイズを抑える可逆圧縮のロスレスでは、ビットレートを落としながらも非圧縮と同等の音質を保っている」ことがわかります。

6-2. OSのエラー音をワイヤレス伝送したくないときは

通常の設定では、すべての音がワイヤレス伝送されます。

お使いのOSや再生ソフトによって設定方法が異なりますが、エラー音をパソコン内蔵スピーカで再生させ、音楽だけをワイヤレス伝送させる方法の概略を説明します。

【Windows Media Player 11の場合】

1. 【コントロールパネル】の【サウンド】→【オーディオ】タブで再生デバイスを変更する。



2. Windows Media Playerの【オプション】→【デバイス】タブにて、スピーカーを選択し、そのプロパティを開きます。

サウンド再生に、“Wireless USB Audio CR2-TXB01”に変更します。



【Mac OS X の場合】

【システム環境設定】→【サウンド】→【サウンドエフェクト】タブを開き、警告とサウンドエフェクトの再生装置より“内蔵スピーカー”を選択してください。

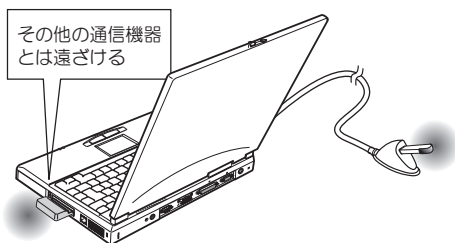


6 -3. 音が途切れやすいときは

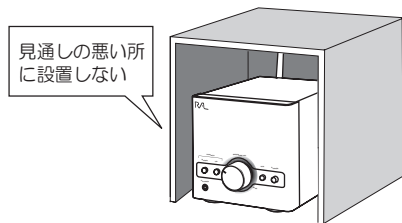
音が途切れやすいときは、次の点を確認してください。

- 無線LANカードや、Bluetooth製品をパソコンに装着している場合、混線により音楽が途切れることがあります。USB延長ケーブルなどを使用して、本製品をそれらの通信機器から遠ざけてください。可能であれば、他の通信機器を取り外してください。

また、コードレス電話機、ワイヤレスAV機器、電子レンジを近くに設置している場合も、本製品から遠ざけてください。(約3m)



- 受信機と送信機の電波を障害物で遮ると、音が途切れたり、聞こえにくくなります。障害物を取り除き、見通しの良い位置に本製品を設置してください。(10m四方の範囲で)





コーヒーブレイク 「適応型周波数ホッピング方式(AFH)」

本製品は適応型周波数ホッピング方式(AFH)の採用により、他の通信機器の干渉を受けにくく音途切れが少ない設計となっています。

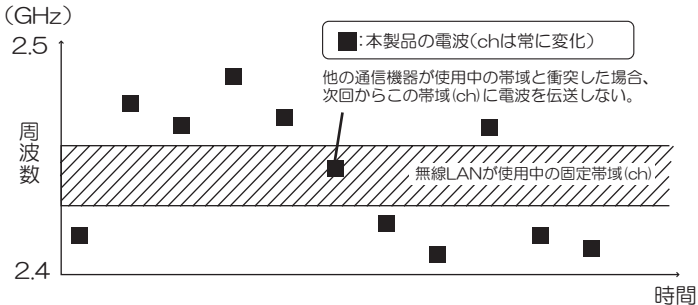
本製品が利用する周波数帯域2.4GHzは、無線LANなどでも良く利用されているのに、一体それはどういうことなのでしょうか。

無線LANやその他のワイヤレスオーディオ製品では、直接拡散方式といって、広い帯域へ直線的に信号を拡散しています。また、信号は送信側から受信側への単方向通信のため受信の取りこぼし(音途切れの原因)が発生しても全く気付きません。

これに対し適応型周波数ホッピング方式では、与えられた帯域内で離散的にランダムにチャンネルを切り換え信号を拡散します。信号は、双方向通信のため、他の通信機器が利用中のチャンネルと衝突した場合は、「電波干渉などの何らかの理由で通信が途絶えた」と判断し、別のチャンネルでリトライします。これにより他の通信機器との干渉や受信の取りこぼし(音途切れの原因)を防いでいます。

適応型周波数ホッピング方式は、直接拡散方式に比べ、「賢い」方式といえます。

適応型周波数ホッピング方式(図解)



7

お問い合わせ・ユーザ登録

7-1. 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記弊社サポートセンターまでお問い合わせください。お問い合わせの際には、巻末の「質問用紙」に必要事項をご記入のうえ、下記FAX番号までお送りください。折り返し、電話またはFAX、メールにて回答いたします。なお、ご質問に対する回答は下記営業時間内とさせていただきますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましては弊社にてテスト/チェック等を行う関係上、回答までに時間を要する場合がございますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
TEL 大阪:06-6633-0190 東京:03-5207-6410
FAX:06-6633-3553 (FAXは24時間受付)

営業時間 月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00
土曜・日曜・祝日及び弊社指定の休日を除く

ホームページで最新の情報をお届けしております。
またホームページ上からのご質問・お問い合わせも可能です。
<http://www.ratocsystems.com/>

7-2. ユーザ登録

ユーザ登録は、下記URLよりおこなうことができます。

<https://regist.ratocsystems.com/>

7-3. 修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理いたします。故障と思われる症状が発生した場合は、まず本書を参照し、接続や設定が正しくおこなわれているかどうかご確認ください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページの下記アドレス「修理について」を参照し、弊社修理センター宛に製品をお送りください。また修理に関してご不明な点がありましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。

〈製品送付先〉 ラトックシステム株式会社 修理センター
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
TEL:06-6633-0190

〈送付頂くもの〉 ・本製品の保証書の原本
・製品
・質問用紙（本書巻末の「質問用紙」に現象を明記してください。）

〈送付方法〉 宅急便等、送付の控えが残る方法でお送りください。
弊社への修理品の送料は、送り主様にご負担ください。返送の費用は、弊社が負担いたします。
輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

〈修理費用〉 保証書に記載の保証期間・条件のもと、有償となる場合があります。詳細は保証書をご覧ください。

修理についてのご案内

<http://www.ratocsystems.com/services/repair/contents.html>

8

オプション品のご案内

オプション品のご注文は、ラトックダイレクトにて承ります。

<http://rps.ratocsystems.com/>



品名：Wireless Digital Headphone

型番：CR2-RXB02

- 2.4GHz AFH-SSワイヤレス伝送
- 通信距離 10m・360度（目安）
- 非圧縮リニアPCM（16bit/44.1kHz 2ch）
- バッテリー 連続再生17時間

ペアリング設定することによって、1台の送信機（USB）で受信相手を変えての音楽データ送信が可能です。

パソコンの音楽をワイヤレスヘッドフォンでお楽しみいただけます。



品名：USBデスクトップ延長ケーブル

型番：RCL-USB-EXT

- 長さ約150cm
 - 送信機（USB）の取り付け位置調整に最適
-



品名：マルチアングルUSBコネクタ

型番：RSD-LKUA1

- 送信機（USB）のアングル調整に最適
-

型番	RAL-Cettia1B	
名称	ワイヤレスオーディオシステム	
無線	伝送方式	デジタル無線/非圧縮方式(リニアPCM, 16bit/44.1kHz 2ch)
	周波数帯	2.4GHz(2.404~2.478GHz、ISM帯、スペクトラム拡散方式)
	変調方式	適応型周波数ホッピング方式(AFH)
	転送速度	4Mbps
	通信距離	最大10m(見通し)360度 ※使用環境により異なります。
送信機(USB)	型番	CR2-TXB01-B
	名称	USB Wireless Audio 送信機
	USB入力	USB1.1(USB Full Speed, 12Mbps)
	外形寸法・重量	20(W)x70(L)x9(H)mm・約11g
	電源電圧	+5V(USBポートより供給)
	消費電流	通信時:81.5mA 待機時:90.0mA
	対応パソコン	USBポートを標準装備、もしくはUSBインターフェイスカードを搭載したWindows PC、Mac
	対応OS	Windows Vista/XP/Me/2000/98SE ※Windows Vista/XPは64ビットにも対応 Mac OS X (10.1以降)、Mac OS 9.2.2
受信機(リメインアンブ)	型番	CR2-RXB03
	名称	Wireless Audio AMP(受信機/据置型)
	定格出力	スピーカー:10W×2(8Ω、JEITA) ヘッドホン:62.5mW×2(16Ω、JEITA)
	全高調波歪率	0.045%(1kHz、1W出力時)
	周波数特性	20Hz~20kHz(-0.3dB)
	スピーカー出力	バナナプラグ対応スクリュー端子
	入力端子 (入力端子/インプタス)	RCA(ライン入力) 140mV/30kΩ
	出力端子 (アナログ出力)	RCA(ライン出力) 0.7Vrms(最少負荷抵抗10kΩ)
	ヘッドホン出力	3.5mmステレオミニ
	アンテナ	外部ロッドアンテナ
外形寸法・重量	約180(W)x138(L)x125(H)mm(突起部含まず)・約2.6kg	
消費電力	AC100V/24W(JEITA)	
スピーカー	型番	RAL-SPK01
	名称	スピーカーシステム
	型式	バスレフ型
	ユニット	フルレンジ 8cmマイクロファイバークロスポリマーコーティング振動板(MCP振動板)
	インピーダンス	6Ω
	最大入力	20W
	再生周波数帯域	90Hz~20kHz
出力音圧レベル	84dB/W	
外形寸法・重量	約110(W)x140(L)x180(H)mm(突起部含まず)・約2.2kg	
保証期間	1年間	

※送信機からパソコンへの音楽や音声入力は出来ません。

※送信機と受信機は1対1の通信となります。

※REX-Link1シリーズ、REX-WHP1シリーズとの互換性はありません。

※本製品は国内仕様となっており、海外での保守、およびサポートはございません。

※製品改良のため、予告なく外觀または仕様の一部を変更することがあります。

RAL-Cettia 1 Bは工事設計認証を取得しています。



CR2-TXB01 (送信機) : 008NY070042

CR2-RXB03 (受信機) : 008WWA080085

本製品に組み込まれた無線設備は、本製品に実装して使用することを前提に、認証を取得しています。従って、組み込まれた無線設備を他の機器へ流用した場合、電波法の規定に抵触する恐れがありますので、十分ご注意ください。

【ご注意】

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1.この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2.万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- 3.その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

（連絡先）ラトックシステム サポートセンター

大阪：06-6633-0190 東京：03-5207-6410

<http://www.ratocsystems.com/mail/support.html>

<現品表示内容の意味>

2.4 … 2.4GHz帯を使用する無線設備を表す。

FH … 変調方式が周波数ホッピングであることを表す。

1 … 想定される干渉距離が10m以内であることを表す。

 … 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する

2.4FH1



ラトックシステム株式会社 サポートセンター宛

FAX: 06-6633-3553

お手数ですが、拡大コピーの上必要事項を記入して、FAXでお送りください。

氏名			
会社・学校	※法人登録の方のみ		
部署・所属	※法人登録の方のみ		
住所	〒		
TEL		FAX	
メールアドレス			
製品型番	RAL-Cettia1B	シリアル番号	
購入店名			
購入年月日			

パソコン機種	メーカー名		型番	
使用OS	Windows	<input type="checkbox"/> Vista (Ultimate・Enterprise・Business・Home Premium・Home Basic) <input type="checkbox"/> XP <input type="checkbox"/> Me <input type="checkbox"/> 2000 <input type="checkbox"/> 98SE		
	Mac	<input type="checkbox"/> Mac OS X (Ver) <input type="checkbox"/> Mac OS 9.2.2		
オーディオ機器	メーカー名		型番	
質問内容				
添付資料				

提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。
弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>



古紙/パルプ配合率70%再生紙を使用



©RATOC Systems, Inc. All rights reserved.
Printed in Japan